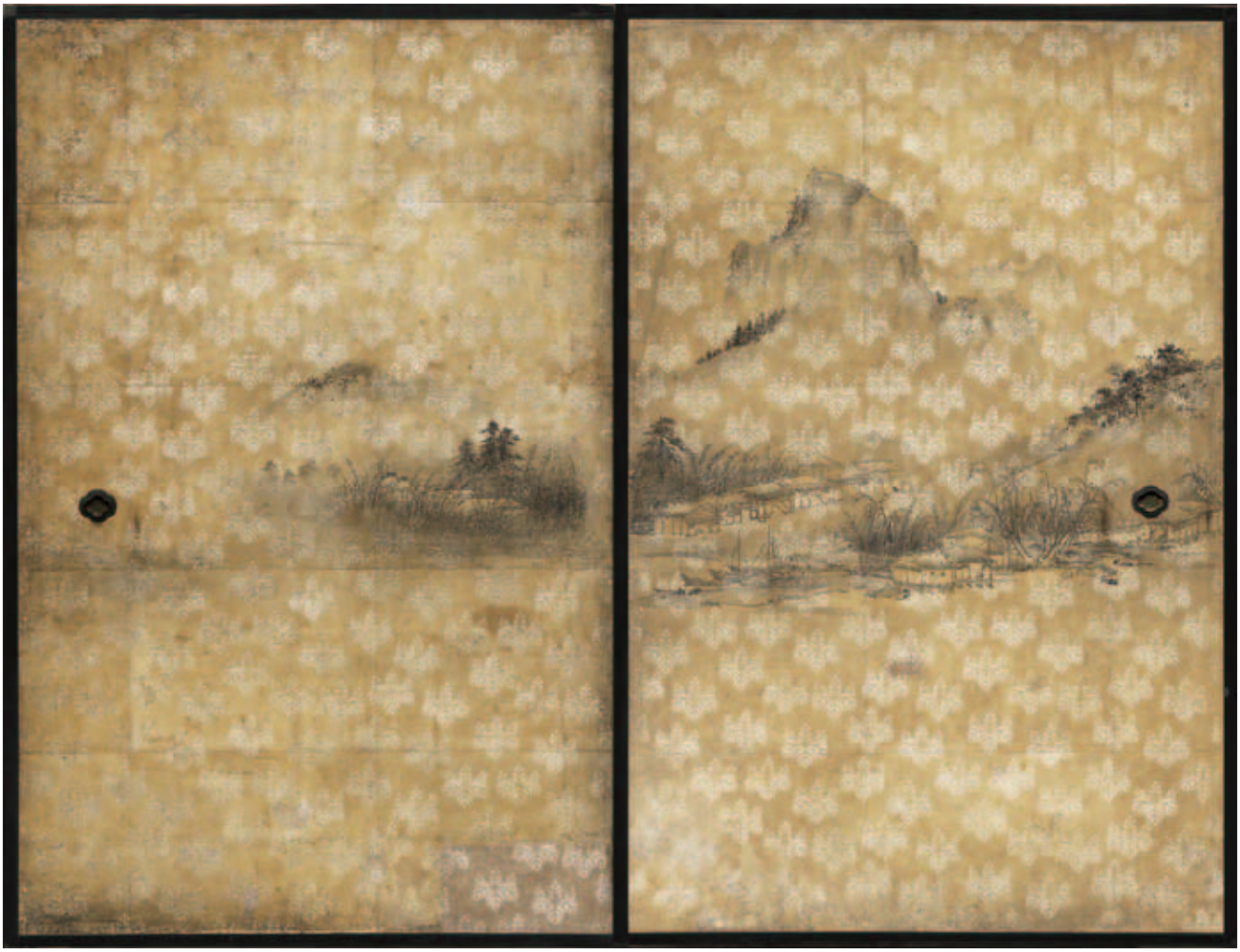
石川県七尾美術館だより

平成24年７月１日発行
編集・発行　石川県七尾美術館

第70号（夏号）



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

長谷川等伯展　～圓徳院の「山水図襖」を中心に～
重要文化財　「山水図襖」　32面内２面　　長谷川等伯筆
天正17（1589）年　　京都市　圓徳院蔵

展覧会紹介

平成24年7月7日（土）～9月17日（月・祝）
休館日については裏表紙をご覧ください

長谷川等伯展
～圓徳院の「山水図襖」を中心に～

8月11日（土）～9月17日（月・祝）
〔会期中無休〕

◇第1・第2・第3展示室

今年も毎年恒例の「長谷川等伯シリーズ展」がやってきました。ご存知の方も多いとは思いますが、まずは簡単に等伯についてご紹介し、それから今年の見どころなどをご案内します。

長谷川等伯（1539～1610）は能登の守護・畠山氏の家臣・奥村文之丞宗道の子として七尾に生まれ、幼少の頃に絵師で染物屋も営む長谷川宗清の養子に入ったとされます。20歳代には信春の名で主に絵仏師として活躍、生家の菩提寺・本延寺（七尾市）の本山・本法寺を頼り、33歳頃正式に上洛したと考えられます。一時期は狩野派に学ぶも、自ら長谷川派を興して狩野派に対抗、千利休とも親交を結び、天下人・豊臣秀吉の御用も務めて活躍した、日本を代表する画家です。

当館ではこれまでに、国宝「松林図屏風」（東京国立博物館蔵）や国宝「楓図」（京都市・智積院蔵）を筆頭に、数々の文化財を公開してきましたが、平成22年の等伯没後400年には東京・京都でも大回顧展が開催され、能登時代も注目を浴びました。そこで当館では昨年、能登に現存する仏画などを中心に、改めて信春の名で活躍した40歳代前半頃までの作品を紹介しました。

シリーズ17回目となる今回は、それに続くかたちで、興味深い逸話が遺る51歳筆の圓徳院（京都市）所蔵「山水図襖」を中心に、信春時代作品や養父の基本作、初公開となる長谷川派の作品など17点を公開、「複製松林図屏風」などの複製画3点も参考展示します。是非ご鑑賞ください！

《主な出品作品》

※◎…重要文化財　□…石川県指定文化財　△…市町村指定文化財

△「毘沙門天像」　1幅
室町時代　羽咋市・妙成寺蔵

本図は等伯作品を所蔵する妙成寺に伝わる、作者不詳の仏画です。一昨年、養父・宗清の基本作や、養父と等伯の合作が発見され、養父もプロの絵師であることが立証されました。また、長谷川家菩提寺・長壽寺（七尾市）所蔵の「涅槃図」は、養祖父とされる無分筆と見られています。

本図は一見して相当の技量を備えた絵師の筆と分かります。吉祥天の目の上下の線など、等伯とは異なる特徴が見られますが、甲冑や宝冠、手の表現などは、明らかに等伯画に通じるところがあります。では、この絵の作者は一体誰なのでしょうか？七尾初公開作品です。

「海棠に雀図」長谷川信春（等伯）　1幅
室町時代末期　個人蔵

垂れ下る海棠の枝に止まり、口にくわえた虫を子どもたちに与えようと歩み寄る親雀、待ってましたとばかりに口を大きく開けた子雀たちの様子が、なんとも微笑ましい作品です。

今回は、等伯に直接学んだ可能性が高い長谷川主殿筆で、等伯も描いている雀や萱草（かんぞう）などが描かれた屏風も並べて展示します。

◎「山水図襖」長谷川等伯　32面（画像は部分）
天正17（1589）年　京都市・圓徳院蔵

圓徳院が所蔵する「山水図襖」は、元々大徳寺三玄院の襖絵で、等伯は襖に絵を描かせてほしいと和尚に頼みますが、禅寺の襖に絵は不要と断られてしまいます。ところが等伯は、和尚の留守中に上がり込み、一気呵成に描いたというのです。また、この襖にはもともと雲母刷りの桐紋が施されており、描きにくいはずなのです。にもかかわらず、断られても描いた等伯…その積極性と創作意欲には驚かされます。

冬景では、その紋様を牡丹雪に見立てて描いたといわれています。多少余白の多い画面も雪景色として見れば、絶妙の〝間〟となって私たちを魅了するのです。

今年、圓徳院様の「等伯の郷里・七尾さんは、きっと大切にしてくださるだろう」という有り難いお

言葉を受け、32面中半数の16面が今夏正式に七尾市（七尾美術館）寄託となりました。
大人の方はもちろんの事、郷里を同じくする七尾の子どもたちにも、是非見てほしいと思います。

★前・後期表裏入れ替えで全32面を公開！

「月夜松林図屏風」　6曲1双
桃山時代　個人蔵

国宝「松林図屏風」との関係が注目される、月が描かれた「月夜松林図屏風」。東京・京都での大回顧展でも話題を呼んだこの作品、描いたのは一体誰なのか？等伯の本画説、弟子説など様々な見解が示されています。
本展では、国宝本の所蔵先である東京国立博物館に特別許可をいただいて製作した、「複製松林図屏風」と並べて展示しますので、是非お見逃しなく！

《紹介作品4点以外の出品作品》

△「涅　槃　図」　無分
△「涅　槃　図」　長谷川藤原　七尾市・長壽寺蔵
「日蓮聖人画像」　長谷川宗清（道浄）　輪島市・成隆寺蔵
「宝塔絵曼荼羅図」　長谷川宗清（道浄）　氷見市・蓮乗寺蔵
「山　水　図」　長谷川信春（等伯）　個人蔵
「鬼子母神十羅刹女像」　長谷川信春（等伯）　三条市・本成寺蔵
「日経上人画像」　長谷川信春（等伯）　京都市・立本寺蔵
□「達　磨　図」　長谷川信春（等伯）　七尾市・龍門寺蔵
◎「列仙図屏風」　長谷川等伯　京都市・壬生寺蔵
「大原御幸図屏風」　長谷川久蔵　東京国立博物館蔵
「花鳥図屏風」　長谷川主殿　個人蔵
「藤棚図屏風」　長谷川派　個人蔵
「涅　槃　図」　長谷川派　七尾市・霊泉寺蔵

〈参考展示〉（3点とも当館蔵）
「複製松林図屏風」（原本：長谷川等伯／東京国立博物館蔵）
「複製日蓮聖人画像」（原本：長谷川信春（等伯）／高岡市・大法寺蔵）
「複製鬼子母神十羅刹女像」（原本：長谷川信春（等伯）／高岡市・大法寺蔵）

※会期中、圓徳院の「山水図襖」のみ表裏展示替え。
前期：8／11～8／31　後期：9／1～9／17
右上の冬景は前期展示。表紙の春景は後期展示。

等伯展関連催し色々♪

◆特別講演会　【聴講無料】
日　時　8月26日（日）午後2時～
会　場　当館アートホール
講　師　鈴木廣之氏（東京学芸大学教授）
演　題　「等伯中年期の作品―研究史から―」
※ご聴講の方全員に、等伯関連絵ハガキ1枚をプレゼントします。

◆当館学芸員によるギャラリートーク
【要申込・要観覧券】
日　時　9月2日（日）午後2時～
会　場　当館展示室
定　員　20名（先着順）
申込開始　7月28日（土）午前9時～
申込方法　電話にてお申し込みください。
七尾美術館☎0767（53）1500
友の会会員先行受付
7月7日（土）午前9時～

◆等伯子どもなんでもクイズ
【参加無料・小中学生対象】
日　時　会期中開館時間内随時
会　場　当館展示室
※毎年恒例の子どもクイズです。挑戦して等伯博士になろう！全問正解者の中から抽選で、等伯関連グッズをプレゼントします♪
※その他、新グッズやティールームの「等伯展オススメメニュー」は、次のページをご覧ください。

◇観覧料

	個人	団体
一般	700円	600円
大高生	350円	300円

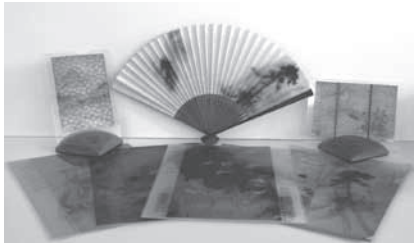
※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「長谷川等伯展」開催を記念してミュージアムショップでは新商品が、ティールームでは、七尾美術館スタッフと市内のお菓子屋さんでアイデアを出し合って生まれた、ケーキや夏のデザートが登場！

◆ミュージアムショップ◆

等伯が描いた襖絵がクリアファイルになりました。当館オリジナルのユニークなデザインで実用的！等伯作品のクリアファイルは他にも4種あります。

昨年、受付の陳列棚で目にした方もいらっしゃるのでは？新たに「松林図屏風」扇子を今夏から販売開始。造りもしっかりしており、これからの季節にぴったりの商品です。



◆ティールーム◆

等伯の水墨画をイメージして創作されたオリジナルロールケーキ「とうはくロール」。風味たっぷり黒ごまクリームと奥能登産、幻の黒豆を使用したきな粉クリームの2種類があり、ふんわりしたスポンジは竹炭パウダーが入ってやさしいおいしさ。

とうはくんコースター付の「等伯コーヒーゼリー」は、つるん&ひんやりが心地よい大人のデザートです。ぜひご賞味ください♪。

とうはくロール　350円

等伯コーヒーゼリー　400円

【長谷川等伯関連展示情報】

石川県立美術館（金沢市出羽町）では、7月16日まで展覧会「特別陳列　長谷川等伯とその周辺」が開催されています。同展では、等伯が「信春」を名乗っていた能登時代の仏画や、等伯4男・長谷川左近（1593～?）の水墨画など、地元伝来の作品が展示の中心です。

そして当館からは、寄託作品の「十六羅漢図」（七尾市・悦叟寺蔵）が出品されています。水墨を基調として所々淡彩を施し、羅漢や眷族などを描いた2面からなる仏画で、室町時代後期頃、等伯よりやや遡る時期の制作といわれます。

本図の注目点は、等伯が描いた七尾市・霊泉寺所蔵の「十六羅漢図」とよく似ていることです。つまり、等伯が霊泉本を描くにあたり、本図を参考にした可能性があるのです。

作者については不明ですが、「長谷川派」絵師によるものと考えられています。中でも有力とされるのが、等伯の養父・長谷川宗清（1507～71）で、もしもそうならば、宗清の数少ない作品であるばかりでなく、等伯と密接なつながりを表す貴重な作例ともなります。

ひょっとしたら親子の作品かもしれないこの2点の「十六羅漢図」、会場には等伯筆の霊泉寺本も展示されていますので、両図を比較しながらご鑑賞されるのも一興でしょう。

「十六羅漢図」
七尾市・悦叟寺蔵
（2面のうち）

※展覧会についての詳細は、石川県立美術館にお問い合わせください（☎076-231-7580）。

モントレー・ジャズ・フェスティバル・ポスター展

7月25日（水）～8月5日（日）

◇第3展示室

七尾市の姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州モントレー市は、世界3大ジャズフェスティバルの1つである「モントレー・ジャズ・フェスティバル（MJF）」の開催地として有名です。

そのモントレー市と七尾市和倉温泉観光協会が、ジャズを通しての友好を目的として、平成元年に「モントレー・ジャズ・フェスティバル イン 能登」をスタートさせ、今年も7月28日（土）に七尾マリンパークで開催されます。当館ではこれにあわせ、モントレー市から和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合へ寄贈された、MJFポスター50枚を展示・紹介します。

このポスターは、1963年から95年までの間にアメリカの作家EARL NEWMAN氏が、著名なジャズ・プレイヤーの演奏する姿やトランペットなどをモチーフに、リトグラフの技法で制作したものです。

ジャズの本場ならではの、躍動感溢れる表現をお楽しみください

※観覧料は「池田文夫氏の情熱」展と共通料金です。

「1963年　Joe Gordon」

第71回七尾港まつり協賛

池田文夫氏の情熱

～絵画・彫刻・工芸・「池田コレクション」の名品～

7月7日（土）～8月5日（日）

◇第1・第2展示室

七尾市出身の実業家・池田文夫氏（1907～87）が蒐集した美術品である「池田コレクション」。

経済人として事業にうち込む一方で、美術品をこよなく愛した氏が精魂を込めて求め続けた、幅広いジャンルのコレクションであり、陶磁器や漆工といった工芸を中心として、日本画や彫刻などとあわせて計204点が、現在当館に所蔵されています。

その内容・点数ともに所蔵品の中核をなすものであり、当館開館以来重要な作品として紹介してきました。

本展では「池田コレクション」より、絵画や彫刻、工芸など様々な作品を紹介します。それぞれの作品を通して、氏が美術品蒐集に込めた「熱き情熱」を感じ取っていただければ幸いです。

「織部梅花角台付向附」

「金魚図」大橋翠石

◆地域別でみる「池田コレクション」

①岐阜県ゆかりの作品

池田文夫氏は、岐阜県大垣市を活動の拠点としていました。従って、「池田コレクション」には同地方ゆかりの作品が多く含まれています。

その筆頭格といえるのが、「美濃焼」といわれる桃山時代から江戸時代にかけて美濃地方で制作された、一連のやきものです。

「美濃焼」は「黄瀬戸」「瀬戸黒」「志野」「織部」に分類され、いずれも日本を代表するやきものとして著名な存在で、コレクションには約40点が含まれています。作品には、コレクションの白眉でもある「黄瀬戸六角盃」を筆頭に、「志野」「織部」の茶碗や鉢、向附などがあり、そのラインナップからは、制作された当時の多彩な文化が窺われます。

近現代作品の絵画では、虎を得意として迫力ある動物画を描いた大橋翠石（1865～1945）、晩年悠々自適に活動し、「画壇の仙人」といわれた熊谷守一（1880～1977）、歴史画で名を馳せ、大和絵の新しい表現を追求した前田青邨（1885～1977）など、そして工芸では「志野」「瀬戸黒」を現代に蘇らせた陶芸家・荒川豊蔵（1894～1985）といった、岐阜県ゆかりの重要な作家たちの作品が充実しています。

「色絵山水図平鉢　吉田屋窯」

「砂張鉦」初代魚住為楽

②石川県ゆかりの作品

池田氏の出身地である石川県関連の作品が多いことも、コレクションの特徴です。氏は大垣に移住した後も七尾に対して多大な貢献を行っており、昭和59年には七尾市名誉市民に推挙されています。それだけ故郷への想いが強かった、ということであり、コレクションに故郷ゆかりの作品が加えられているのは、その反映といえるでしょう。

作品としては工芸が中心で、古美術作品では江戸時代後期に加賀地域などで制作された「再興九谷」や、加賀藩のブランドともなった「加賀象嵌鐙」などがあります。一方近現代作品は、初代魚住為楽（1886～1964）や前大峰（1890～1977）、大場松魚（1916～2012）をはじめとした、石川県の工芸界に大きな足跡を残している重要無形文化財保持者（人間国宝）などの作品がみられます。

むろん、コレクションには他にも和歌山の「根来塗」や京都の「楽焼」など、地域色豊かな作品が目白押しです。それは、池田氏の幅広い見識と、何よりも美術品に注いだ深い愛情の証といえるのではないでしょうか。

「池田コレクション」グッズはいかがですか

「ポストカード」、「コレクション冊子」のほか、本展にあわせ新グッズも登場予定ですので、この機会にどうぞ。

ポストカード　各100円

コレクション冊子　各500円

◇観覧料

	個人	団体
一般	350円	280円
大高生	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

市民ギャラリー展覧会案内

第71回七尾港まつり協賛

第18回　七尾美術作家協会展

7月14日（土）～16日（月・祝）
最終日は午後4時まで

入場無料

協会員96名が日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門にわたり近作を展示発表します。ぜひご高覧ください。

主　催　七尾美術作家協会（会長　吉田隆）
連絡先　七尾美術作家協会事務局　橋本義則
☎0767（53）3011

第17回　七尾日創展

7月19日（木）～22日（日）
初日は午後1時から
最終日は午後4時まで

入場無料

公募により県内外から出品された日本画を中心とする絵画約60点を展示します。若さあふれる作品からベテランの充実した作品まで、個性あふれる作品をお楽しみください。

主　催　日創会（代表　丹羽俊夫）
連絡先　三宅厚史
☎0767（77）1368

文学の絵展／西のぼる「等伯を描く」

―西のぼるの絵仕事世界―
9月22日（土・祝）～10月3日（水）
最終日は午後4時まで

入場無料

※詳細は本誌、P7上段参照

アートホール催し物案内

第10回石川県NOTOピアノコンクール

課題曲による公開レッスン

7月8日（日）
開演　午前10時（予定）

8月11日（土）、12日（日）に行われるピアノコンクールの課題曲による公開レッスンです。講師は同コンクール実行委員長、辻井雅子先生です。聴講される方には、課題曲解説資料をお渡しします。

入場料　2，000円（資料費込）
主　催　石川県NOTOピアノコンクール実行委員会
連絡先　同実行委員会事務局（ミヤコ音楽堂内）
☎0767（53）0001

ピティナ・ピアノステップ

7月22日（日）
開演　午前10時

入場無料

ピティナ・ステップは子どもから大人まで、ピアノを始めたばかりの方から指導者まで、どなたでもご参加いただける公開ステージです。アドバイザーの先生をお迎えし、直筆のメッセージがいただけます。

主　催　全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）
連絡先　平島紀子
☎090-1110-8724

佐藤有希子門下生ピアノ発表会

7月29日（日）
開演　午後1時30分

入場無料

2年に一度のピアノ発表会です。さまざまなジャンルの曲を、ピアノソロ・ピアノ連弾で演奏します。小さなピアニストたちが奏でる音を、どうぞお聴きください。

主　催　佐藤有希子門下生
連絡先　佐藤有希子
☎0767（54）0955

第2回　大森結城クラシックバレエ発表会

8月5日（日）
開演　午後2時

入場無料

子どもたちの日頃の練習成果を、発表したいと思います。かわいらしく、楽しく、一生懸命踊ります。皆様方にも、ご一緒に楽しんでいただけたらうれしいです。ご来場をお待ちしております。

主催・連絡先
大森結城クラシックバレエスタジオ
☎0767（53）0469

山本祐未　ピアノコンサート

9月23日（日）
開演　午後2時

お気軽に聴きにいらしてください。

♪曲名
ベートーヴェン：ソナタ第23番「熱情」、リスト：3つの演奏会用練習曲より、ショパン：スケルツォ第2番、その他。

入場料　500円（高校生以下無料）
主催・連絡先
山本祐未
mail：yumi0132@hotmail.co.jp
☎090-6270-0132

市民ギャラリー

入場無料

文学の絵展／西のぼる「等伯を描く」
―西のぼるの絵仕事世界―

9月22日（土・祝）～10月3日（水）
※最終日のみ午後4時まで

画聖・長谷川等伯の姿を、同じ能登出身の画家、西のぼる氏が生き生きと描きました。安部龍太郎作、新聞連載小説『等伯』のために制作した挿し絵の原画作品を展示します。『等伯』では昨年は七尾時代、今年は京都時代と、天下の絵師としての波乱に満ちた等伯の生涯を描き上げました。また、本展のために能登各地を取材して制作した「能登松林図」百枚も展示します。

挿し絵「等伯」の画

会期中、公開制作として西氏が墨絵「松林図屏風」を描き、作家・安部龍太郎氏が画賛を書き入れて『等伯』の世界を完成させます。

挿絵画家・西のぼるの絵仕事世界展も開催します。氏は装丁原画、挿し絵など数多くの歴史・時代小説の世界を描いています。緻密な時代考証、繊細な筆使い、濁りのない日本の伝統的な色彩をお楽しみいただけます。

主　催　等伯誕生の地PR事業支援委員会
連絡先　七尾市文化課　作井
☎0767（53）8437

印鑰神社の文化財2点が七尾へ里帰りしました

この度、印鑰神社（七尾市）が所有する絵画「印鑰明神垂迹図」（県文）および「三千仏画像」（市文）の2点が、無事修復を終えて久方ぶりに七尾へ帰還し、当館に寄託されました。

両図は室町時代の制作といわれ、ともに縦横それぞれ1メートルを超える大幅です。「印鑰明神垂迹図」は、国府の「公印」と倉庫の「鍵」を神格化した印鑰神を中心に、周囲に女神や四天王などを配した奈良時代以来の古い様式を持つ垂迹画。荒神が一緒に描かれるのが特異です。

一方「三千仏画像」は、平安時代頃より宮中などで行われた懺悔の会式「仏名会」の本尊画像で、3千（現状では約2千）もの仏が細かく描き込まれています。3幅形式が多い「三千仏図」の中で、本図は珍しい1幅形式となっています。

記録では江戸時代に一度修復されたようですが、その後の時間経過で傷みが進行、石川県立美術館に保管されていました。それが今回、作品を管理する印鑰神社奉賛会や氏子の皆様のご尽力により修復、見事な状態に復帰したのです。

修復を記念して、奉賛会主催により5月27日、印鑰神社にて記念式典と一般公開が行われました。氏子以外への大々的な公開は初めてということもあり、一般公開には約200人もの方々が訪れ、関心の高さを窺わせました。

一般公開日は大勢の方々で賑わいました

今後、当館ではこれらの貴重な文化財を大切に保管し、展覧会の中で公開していきたいと考えています。

参加者を募集します！

第13回　石川県七尾美術館友の会「鑑賞の旅」のご案内

今回は「国宝・松本城と芸術＆紅葉を楽しむ旅」をテーマに信州・長野方面へ行きます。

まずは、天下の名城『松本城』へ。黒漆塗りと白漆喰の外壁のコントラストが際立つ美しいお城で「築城技術の結晶がいたるところにちりばめられている」と言われる5重6階の城内部も見学します。

次に、日本で最も古い小学校のひとつでもある明治時代創建の国指定重要文化財『旧開智学校』を見学。

昼食後、バスで移動し『安曇野ちひろ美術館』へ。絵本作家のいわさきちひろは、その半生を綴ったドキュメンタリー映画が今夏公開され、再び話題になっています。どこか懐かしく、心癒されるちひろ作品に会いに行きませんか？

バスの窓からは、秋の紅葉が楽しめる頃♪皆様からのお申し込みをお待ちしております。

◆日　程　10月14日（日）【貸切バス利用・日帰り】
午前6時出発、午後9時頃帰着。

◆見学予定地（長野県）
松本城、旧開智学校、安曇野ちひろ美術館など

◆参加費　10，000円
※バス代・見学料・昼食代・旅行傷害保険料込。友の会会員以外の方は右記参加費に1，000円（友の会年会費）加算となります。この機会にご入会ください。

◆募集定員　先着25名（対象は原則として成人）

◆申込期間　7月7日（土）～
※定員に達し次第締め切り

◆申込方法
参加費をご持参のうえ、当館受付までお越しください。

これからの展覧会予定

平成24年９月22日（土・祝）～ 10月28日（日）

◆第１展示室「草花づくし」

四季折々で様々な姿をみせてくれる自然の草花。そのいとなみは私たちに大きな感動を与え、いにしえより美術工芸品の意匠にも盛んに取り入れられてきました。本展では「池田コレクション」など当館所蔵品より、草花が表現された作品を紹介します。

「織部銀杏形香合」
（池田コレクション）

◆第２展示室「日本画家・中町 進展」

中町進氏（1930 ～　）は石川県輪島市出身の日本画家。若年時より画家を志し、黒・青・赤と作風を変化させながら、静寂に満ちた自然のうつろいや、郷愁をそそる街の風景を描き続ける一方で、石川県美術界の牽引や後進の指導にも大きな役割を果たしています。本展では氏の様々な作品を展示し、その画業を紹介します。

「午後」中町 進

平成24年11月９日（金）～ 12月16日（日）　会期中無休

◆第１・２・３展示室

「2012イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

毎年、イタリアの古都ボローニャで子どもの本のためのイラスト（５枚１組）を審査するコンクールが開催されています。本展では世界中からの応募作品より選ばれた入選作品、19カ国72作家のバラエティ豊かで個性溢れる作品を紹介します。また、特別展示として、35歳以下の同コンクール入選者から選出される「SM出版賞」を受賞したペイジ･チュー（台湾）の絵本デビュー作『鉛の兵隊』の原画を、過去のボローニャ展入選作品や新作とともに展示します。印刷された絵本からは感じることのできない原画の魅力をお楽しみください。

会期中、ボローニャ・ラガッツィ賞受賞絵本や入選作家の絵本を展示、絵本アニメ上映会や絵本作り子どもワークショップなども開催します。

『マックとかあさんグマ』
ジェリー・ターリー（イギリス）

プレミアム・パスポート　子育てにやさしい店　PRE PASS

割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約１時間15分
タクシー…JR七尾駅から約５分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号
…JR七尾駅前「ミナ. クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
ななおコミュニティバスぐるっと7
…JR七尾駅５番乗り場から西コース「小丸山台１丁目」下車

休館日のお知らせ

7月～9月
◆7月　2～6，9，17，23，30
◆8月　6～10
◆9月　18～21，24

◎次号・第71号（秋号）は10月１日発行予定です。

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台１丁目１番地
TEL(0767)53-1500 ／ FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp